

きむらこふんぐん

木村古墳群

(滋賀県指定史跡)

所在地：東近江市川合町・木村町

遺跡の概要

木村古墳群は雪野山と玉緒山との間に挟まれた平野部の南側、川合町と木村町に位置しており、すぐ近くには名神高速道路があります。

滋賀県下では最大規模の古墳時代中期(5世紀ごろ)の古墳群で、久保田山古墳、天乞山古墳、ケンサイ塚古墳、石塚古墳、入刀塚古墳などの5基以上の古墳によって構成されています。

木村古墳群の北西にある雪野山の山頂にはこの地域を最初に掌握した王の眠る雪野山古墳(4世紀前半)があります。

木村古墳群分布図



整備された木村古墳群
(悠久の丘あかね古墳公園)
天乞山古墳と久保田山古墳



木村古墳群全景（昭和35年）

昭和35（1960）年の名神高速道路に伴う工事やほ場整備事業などで多くの古墳が失われましたが、残されていた久保田山古墳と天乞山古墳の2つの古墳が平成2年に県の史跡として指定されました。

平成4年から発掘調査がおこなわれ、その成果を基に、平成9年には悠久の丘あかね古墳公園として整備されました。



石塚古墳は墳丘が失われていますが、周溝が水田の下に残っています。

木村古墳群周辺地形図（昭和35年）

あまごいやま

天乞山古墳

一辺が約 65m、高さが 11m 程度と推定される方墳^{ほうふん}です。南北の両端に造り出しの付く、めずらしい形の古墳^{つく}です。方墳としては滋賀県下最大規模、全国でも有数の規模の古墳^{しゅうごう}です。周囲には幅が 21~22m の周濠^{しゅうごう}がめぐります。

墳丘は 2 段築成^{ちくせい}で、西側の造り出しを中心とした部分に葺き石^はを貼り付けています。主体部の構造は明らかではありませんが、石室に使ったと思われる石材があり、竪穴式石室^{たて}であったと考えられます。古墳の築造年代は墳丘の形状から 5 世紀後半と考えられます。



発掘調査風景



竪穴式石室の調査風景



竪穴式石室（復元）

くぼたやま

久保田山古墳

直径 57m、高さ 5m 以上の円墳で、南北の両端に造り出し^{つく}が付く、めずらしい形をしています。全長が 70m を超える大型の古墳で、周濠^{しゅうごう}がめぐります。墳丘は 2 段築成^{ちくせい}で、周囲には円筒埴輪^{えんとうはにわ}がたて並べてありました。

古墳の表面は割石^{わりいし}による葺き石^{おお}で全面が覆われていたようです。主体部の構造は明らかではありませんが、石室に使ったと思われる石材が出土しています。古墳の築造年代は出土した土器や埴輪から 5 世紀後半と考えられます。



発掘調査中



埴輪出土状況



調査風景

ケンサイ塚古墳

昭和 35 年に名神高速道路建設によって耕作地が大幅に減少することから代替地としてケンサイ塚古墳を開墾して農地とすることとなり、同志社大学により発掘調査が実施されました。調査には蒲生町青年団員が協力し、その映像が8mmフィルムにより記録されています(県内最古の発掘調査映像記録)。

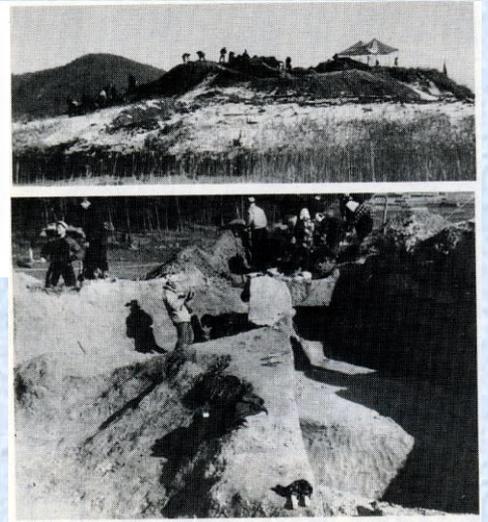
古墳の規模は直径約 70~80m、墳高約 10m の円墳とされていましたが、平成 12 年度の調査で一辺約 65m の方墳と判明しました。



木村古墳群全景(昭和 35 年)



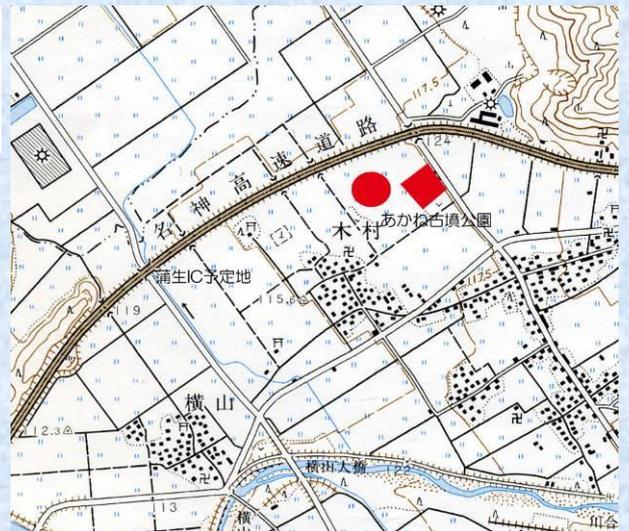
出土遺物
上左・中：須恵器
上右：埴輪
下左：鉄刀など
下右：鉄斧、鉄鋸



調査の様子(蒲生町史より)

★木村古墳群

(悠久の丘あかね古墳公園) には・・・



所在地：東近江市川合町3576
アクセス：JR琵琶湖線近江八幡駅から「近江鉄道バス」日八線もしくは、長峰線 あかね古墳公園下車すぐ
名神高速道路八日市ICより車で30分
竜王ICより車で20分



東近江市の遺跡シリーズ5「木村古墳群」

編集・発行：東近江市教育委員会 埋蔵文化財センター

〒521-1225 滋賀県東近江市山路町 2225

TEL:0748-42-5011 IP:0505-801-5011 FAX:0748-42-5816

[平成 23 年3月発行]

このパンフレットは地域活性化交付金(住民生活に光をそそぐ交付金)を得て作成しました。